

---

# 変わっていく日常～普通ってなんだろう・・・～

サトシ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

変わっていく日常～普通ってなんだろう・・・

### 【Zコード】

Z6972D

### 【作者名】

サトシ

### 【あらすじ】

何処にでもいる不良の主人公?【八神刀夜】は転校してきた【春咲春菜】に不思議な感覚を抱く。親友たちと交流を深めていくにつけ、自分の抱いている気持ちに気付く。そして、最終的に・・・

## 第一話 【何故に疑問系?】（前書き）

いつも、サトシといつ者です。

この小説は僕の妄想なので、無茶苦茶です。

それでもいい人は是非読んでください。

感想などくれると大変嬉しいです。

## 第一話 【何故に疑問系？】

考えたことがあるだろうか？

当たり前の日常が、

たった1人加わるだけで・・・

中学2年生という一番楽な時に、  
転校してきた女の子がクラスに入ってきた。

俺は、席が一番後ろの窓側で、  
人数の関係で隣はいなかつた。

「今日からこのクラスに入る、

春咲春菜さんです。」

「春咲春菜です。

よろしく・・・お願ひします。」

俺はこの時、不思議な感覚だつた。

周りが騒いでいる中、俺だけ時間が止まつたように思えた。

「それでは席は・・・八神君の横ね。

八神君、手をあげて。」

俺は手を上げた。

一步ずつ近づく度に、

妙な感覚を刻んでいた。

「よろしく。

今までの自分では信じられないくらい、冷たい言い方だった。

俺の斜め前の席の吉川が驚いて、「どうしたん！？」

と聞いてきたくらいだ。

「別に……」

「八神君の隣つて……」「……？」

転校生が怯えながら聞いてきた。

「いやだつたら席を変えてもら……」「ドコッ！」ガハッ！？」

突然胸を殴られた……

「てめえ……いきなり何をしやがるー！？」

「黙れ、五月蠅い、騒ぐな」

こいつはおれの前の席の三崎 キヨウ、

俺の親友だ。

「いきなり殴るな！」

俺以外だと氣絶するぞー！？」

「何を当たり前のことを、

お前だからやつたんだよ。」「

「ほう？」「

とりあえず……死ぬか？」「

「その前に早く座らせてやれ。」「

そういえばまだ座つてなかつたな。

「あの……」「

「ここでいいなら座れ。」「

俺は眠いんだ。

「あの……その……」「

「？何だ？」「

「えつと、よろしくね？」「

何故に疑問系？

「よーし、

HR終わるぞ～」

担任のやる気の無い会議でPCRは終わった。

休み時間になるとクラスの洗礼を受けていた。  
当たり前だ。変化のない一日を過ごしてたら少しの変化でも大事に  
変わる。

「で、何でお前は屋上にいる?」  
リョウが呆れた様に聞いてきた。  
「席が五月蠅くてな。」  
「普通は質問とかするだろ?」  
「俺は静かのが一番なんだよ。」  
静寂とはなんて偉大だろう。  
「何を悟っているんだお前は・・・」  
「褒めるなよ。」  
「褒めていない。」  
「ちつ、冗談の通じない奴め。」  
「授業はどうする?」  
「サボるに決まってるだろ?」  
当たり前だ。

あんなに五月蠅かつたら授業なんか受けん気しねえよ。

「それじゃ俺もサボるか。」  
「なんだ、結局いつもと一緒か。」

俺とリョウは不良だ。

学校サボるし、喧嘩するし、煙草も吸う。

だけど、クラスの連中は気にしないで喋つてくれる。

何だかんだ言って、こんな日常が好きだ。

「やべ、ヤニがない。」

「刀夜にしては珍しいな、俺のいるか？」

刀夜というのは俺の名前だ。

親がアミダくじで決めた、何ともいい加減な名前だ。  
・・・まあ、気に入ってるからいいけどさ。

「わりいな、セッタか？」

「ああ、お前のよりきついぞ。」

「セッタなら大丈夫だ。」

リョウはセブンスター、俺はマイルドセブンの8だ。  
愛用のジッポで火を付ける。

ジジッ、ボツ！

「ふう、かわらねえ日常か。」

「ん？」

「いや、なんでもねえ。」

## 第一話 【何故に疑問系?】（後書き）

続きを読む2週間に一回更新予定です。

こんな駄作を読んでいただきありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6972d/>

---

変わっていく日常～普通ってなんだろう・・・

2011年1月20日02時58分発行